

# 平成30年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立碧山小学校

## ●全国学力学習状況調査(小6・中3)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。	28.90%	A知識B活用ともに、東京都の平均を上回っている。主語・述語の関係に注意して文を書く問題は、正答率は高くないが東京平均を10ポイント近く上回っている。漢字の書き取りも、東京都平均を大きく上回っている。	一定の条件を満たした上で50字以上100字以内程度で文章を書く問題に課題が見られた。文章から分かったことを書く問題、自分の考えを書く問題ともに課題が見られたので、一定の条件下で書く力を育てていく必要がある。
	内容や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く。	17.70%		
	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。	50.60%		
算数・数学	小数の除法の意味について理解している。	51.80%	数量関係や図形についての技能・知識・理解は、問題のほぼ7割の正答率を占め、基礎的な力は全体的に身に付いている。学習の内容はほぼ理解できていると言える。	メモ情報を基にグラフを読み解く力に課題が見られた。多くの問題を解くことでいろいろな視点を培いたい。分数、小数に関しては学習したあとにも復習して力を定着させる必要がある。
	メモの情報とグラフを関連付け、総数の変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。	25.30%		
	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる。	25.30%		
理科	大雨が降って流れる水の量が増えた時の地面の削られ方を考える。	16.90%	複数の調べた結果を分析し判断する力は育っている。また、川の上流で降った雨の影響が数時間後に下流に現れるなど、実験したことを実生活に反映して考えることも8割ができている。	なぜこのような現象になったのかを、複数の実験結果を基にして自分の言葉で科学的に説明する力を育てる必要がある。
	食塩水を熱した時の食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を記述する。	34.90%		
	目的の時間帯だけモーターを回すために光電池の適切な向きと位置を選ぶ。	45.80%		

## ●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5・中2)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	文の中の主語と述語について着目して読むことができる。	23.50%	他の人の発表を聞いて良い点を見付けたり、自分の考えと比べ、考えた理由を理解して読んだりすることが9割以上できている。聞き取るべき内容を自分で判断し、話の中心となる情報についてメモを取りながら聞くことが8割以上できる。	文を構成する言葉(主語、述語、修飾語)に着目して読む力を育てる必要がある。 書きたいことを分かりやすく伝えるように、より良い表現に書き直す力を育てる必要がある。
	文の中の詳しくする言葉と、どの言葉を詳しくしているかについて着目することができる。	23.50%		
	書きたいことが分かりやすく伝えるように、より良い表現に書き直すことができる。	35.30%		
社会	調べたことをもとに消防しよの取組の目的を考える。	37.60%	資料から火災の様子やスーパーマーケットの店内の様子を読み取ることは8割以上できており、自分達の生活に近いところの様子についてはよく考えることができている。都道府県の名前と位置については7割以上が覚えている。	学習した内容を、実生活につなげて考える事が課題である。学習した事が生活の中でどう生かされているか、関連付けて考えたり述べたりする力を付けていく必要がある。
	自分の学校がある区市町村の位置が分かる。	34.10%		
	家庭に確実に水が届いている理由を考える。	44.70%		
算数・数学	2次元表を読み取る。	14.10%	計算・数直線・面積・倍数等の基本的なことは正答率7割と定着している。計算は計算相撲という学校独自の取り組みが土台を築いているので、継続的に取り組むことで計算力の定着を確実にする。	表の縦軸と横軸を見て解くような2次元的な構成の問題は正答率1割と少ない。また、分数・小数・円に関しては正答率5割と多くないので、復習することで力を付けていく必要がある。
	必要な情報を正確に取り出す。	7.10%		
	比較・関連付けて読み取る。	5.90%		
理科	星座早見の使い方を理解している	34.10%	温度計の読み方、体の関節・筋肉・骨のような部位の名称は正確に覚えていない。また、ピンポン玉を温めると中の空気が膨張して形が戻るなど、学習で学んだことを実生活に反映させて考えることができる。	星座早見の使い方と簡易検流計を使った回路の作り方の理解が十分ではない。さらに、ゴムを伸ばした時に戻る力を推察して車の動く距離を考える様に、複数の結果を総合的に考える力を育てる必要がある。
	ゴムの伸ばす長さで車のすすむ距離が変わることをわかっていしている。	34.10%		
	簡易検流計をつないだ回路のつなぎ方を理解している。	51.80%		
英語 ※中学校のみ				